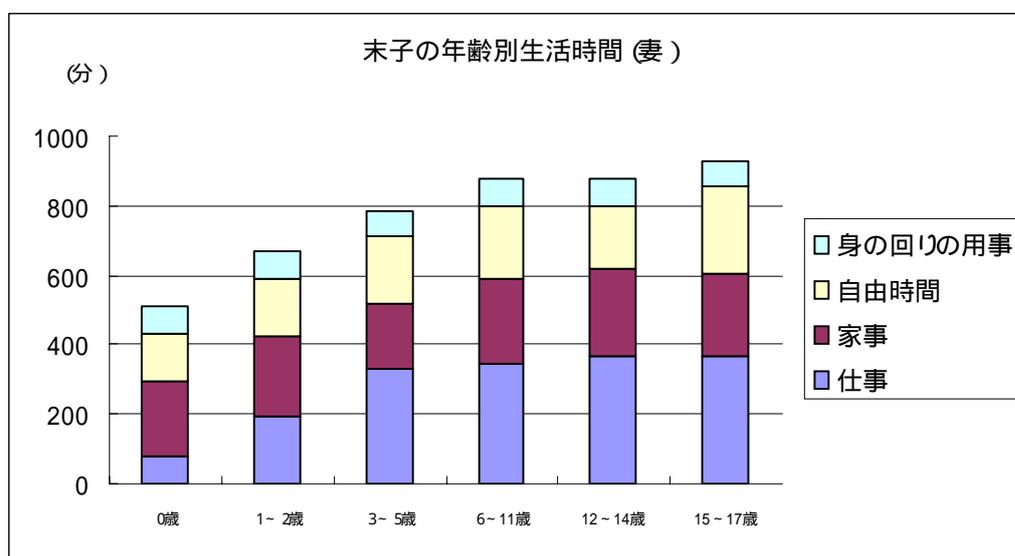
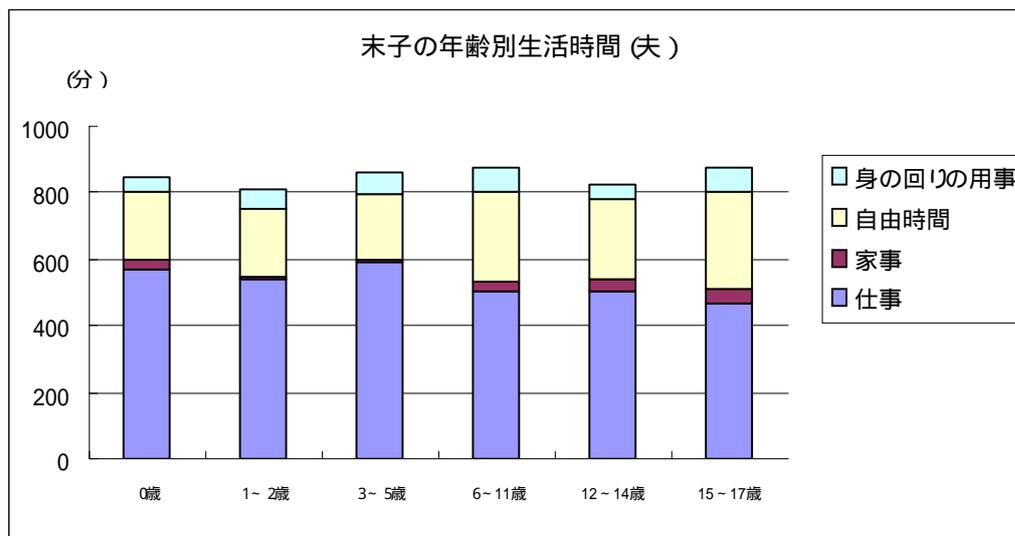


共働き夫婦の生活時間 子供の年齢とともにどう変わるか

平成18年社会生活基本調査結果の中に、共働き夫婦の生活時間を末子の年齢別に集計した表があります。

男女共同参画社会を実現するためには、男の役割、女の役割を問い直していかなければなりません。大分県の共働き夫婦、特にその夫はどう変わるべきなのか、現状認識から考える素材としてご覧ください。



注：土日を含めた1日当たり平均時間

仕事時間 = 仕事 + 通勤・通学の時間

家事時間 = 家事 + 買い物の時間

自由時間 = テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 + 休養 + 趣味・娯楽 + スポーツ + 交際・付き合いの時間

大分県の共働き世帯のサンプル数は620。

上図のデータ

夫

	仕事時間	家事	自由時間	身の回りの用事
0歳	9時間29分	26分	3時間28分	41分
1～2歳	8時間58分	13分	3時間24分	56分
3～5歳	9時間52分	6分	3時間20分	65分
6～11歳	8時間27分	28分	4時間30分	71分
12～14歳	8時間27分	34分	4時間1分	44分
15～17歳	7時間44分	50分	4時間51分	69分

妻

	仕事時間	家事	自由時間	身の回りの用事
0歳	1時間18分	3時間40分	2時間16分	77分
1～2歳	3時間11分	3時間51分	2時間50分	80分
3～5歳	5時間34分	3時間5分	3時間13分	73分
6～11歳	5時間42分	4時間10分	3時間27分	82分
12～14歳	6時間7分	4時間12分	3時間3分	74分
15～17歳	6時間5分	4時間1分	4時間7分	77分

【夫と妻の自由時間】

当然ながら、妻の生活時間は子供の年齢によって大幅に変わります。末子が0歳の時に仕事時間以外で一番しわ寄せをうけるのは自由時間で、2時間16分となっています。末子が成長するにしたがって自由時間が増加して、3時間を超えていきます。

夫も、末子が5歳になるまでの自由時間は約3時間20分で少なめではあるものの、妻よりは長い自由時間を享受しています。しかも、全体を通じて夫の自由時間の方が長くなっています。これをどう考えますか。

【妻の仕事時間】

末子が0歳のときには1時間18分にとどまっている妻の仕事時間は、末子が3～5歳になると5時間34分に増加して、それ以降はあまり変わりません。出産で仕事を辞めた女性も末子が幼稚園に入る頃までには再び仕事に復帰していることが現れています。

なお、社会生活基本調査は5年に一度、抽出調査として実施しているもので、生活時間の配分その他、インターネット、趣味・娯楽、ボランティア活動、旅行等について調べています。

インターネット利用時間の年齢別状況、スポーツの種類別プレイ時間、日帰り旅行に出かける年間回数等がわかります。詳しい調査結果は次のホームページに掲載されています。

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2006/index.htm> (総務省 社会生活基本調査のページ)

参考までにさわりを少し御紹介します。

平成18年社会生活基本調査による行動者率

単位 :%

	インターネット利用	外国語学習	スポーツ				
			野球	サッカー	テニス	バドミントン	
大分県	49.7	6.2	62.1	8.3	4.7	4.0	5.0
全国平均	59.4	10.3	65.3	8.6	6.0	5.6	6.5
全国順位	35	38	31	23	36	34	46
九州順位	3	7	6	4	7	5	8

	スポーツ(続き)		スポーツ観覧	美術鑑賞	CD等による音楽鑑賞	コーラス・声楽	ボランティア
	ゴルフ	水泳					
大分県	6.5	9.3	22.0	12.0	44.3	2.0	30.2
全国平均	8.9	13.8	21.1	18.5	52.4	3.0	26.2
全国順位	34	44	10	43	40	44	18
九州順位	6	8	3	7	6	8	7

行動者率とは、1年間に該当する行動を行ったことのある人が10歳以上人口に占める割合